

# 「この子」の創る「深い学び」

主催:社会科の初志をつらぬく会関東研究部

共催:横浜「良い授業を創る会」

## ○テーマについて

次期指導要領が告示されました。小中の目標を縦に見て関連性をつけていったこと、教科等を見方・考え方で横断的に見ていることなど、さまざまな変化を予想させる今回の指導要領の内容です。

その中でも、三つの資質・能力を育成するために、「見方・考え方」を働かせた「主体的・対話的で深い学び」を実現していくこと、が大きなポイントとなります。

「子どもたちが学びの中で生き生きと、主体的に取り組む姿を実現したい。」

「子どもたち一人一人の考えを出し合い、より深まっていく授業にしていきたい。」

わたしたちは、そのように考え、一人一人の思いをみとり、授業を創ろうと努力してきました。その意味では、「主体的」「対話的」はイメージをもつことができます。

しかし「深い学び」についてはどうでしょうか？どのような学びが「深い学び」と言えるのか？そのイメージはわたしたち教師の中でも違いがあるように思います。

一方、教室で子どもたちの学んでいる姿からは、授業の最後に表されるまとめの文章のようなわかり方ではなく、わかり方には違いがあることも見いだすことができます。つまり、個のわかり方は個性的であり、一人一人のわかり方には、その子の経験によって違いがあるのではないのでしょうか？

そのように考えると、「深い学び」とは「主体的・対話的」な学びを経て、一人一人が個性的に創り上げていくものなのではないのでしょうか？

今回の関東集会では、その点にスポットをあて、個の分かり方と「深い学び」の関係を考えます。みんなが一樣に分かるということではなく、「この子」なりの分かり方があるのではないのか？AさんとBさんの分かり方にはどんな違いがあるのかなど、深い学びはどのように形成されていくのかという点を4つの分科会に分かれ、授業記録を基に考えていきます。

二日間、是非皆さんで学んでいきましょう。

○日時 2018(平成30)年1月6日(土)～7日(日)

○会場 ニューウェルシティ湯河原

〒413-0001 静岡県熱海市泉 107

TEL:0465-63-3721(代)

FAX:0465-63-6401



●無料シャトルバス時刻表(※湯河原駅改札出て左側ロータリー内土肥実平像、桜の木前)

湯河原駅発(乗り場⇒※)		10:30	11:15	12:15	13:15 13:45	14:15 14:45	15:15 15:45	16:15 16:45	17:15
ニューウェルシティ湯河原発	9:30	10:00	11:00	12:00	13:00 13:30	14:00 14:30	15:00 15:30	16:00 16:30	17:00 17:30

○日程

◇1月6日(土)

- 12:15～13:00 受付
- 13:00～13:30 開会  
(開会の挨拶・提案者より・諸連絡等)
- 13:45～18:00 分科会①
- 19:00～21:00 夕食
- 21:00～ 懇親会

◇1月7日(日)

- 7:30～ 8:30 朝食
- 9:00～10:15 分科会②
- 10:30～12:00 講演

**【自動車でのアクセス】**  
**◆東京方面より**＝東名厚木 I.C→小田原厚木道路→石橋料金所→真鶴道路(国道135号)→湯河原  
**◆静岡方面より**＝東名沼津 I.C→東駿河湾環状道路・国道1号(三島方面)→国道136号→熱函道路→熱海(国道135号)→湯河原  
 カーナビゲーションを使用される場合は次の住所を設定してください。  
**「神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 359 番地」**

社会科の初志をつらぬく会 運営委員長 鎌田和宏 先生 (帝京大学教育学部)

演題：「この子」の創る「深い学び」

- 12:00～ 全体会(提案者より・閉会の挨拶・諸連絡等)

○分科会および実践提案者の主張

A分科会【4年 総合的な学習の時間】田邊 里子さん(台東区立石浜小学校)

協力者 石川 恒子さん(台東区立石浜小学校)

「身近な社会の中で私にもできること ～障がい者との交流を通して～」

A 児は、様々な事柄に対して一生懸命に考え、自分の意見を発表することが大好きな子です。しかし、友達の意見を受け止められず、自分の意見に反対されると、ひどく落胆してしまいます。それを見た周囲の友達は「なんでそのくらいで泣くの？」と苛立ちます。「A 児のことをみんなで理解したい。A 児にはみんなを認めてほしい。」そんな願いを込めて日々の取組を行っています。本単元で、子どもたちは目の不自由な B さんとの交流を通して、B さんが困っていることや生活の中での工夫を知りました。同時に、B さんが前向きに楽しく生きていることに、子どもたちは一様に驚きました。そこから障がい者の気持ちを自分たちなりに理解し、「みんなが住みよい町にしたい」という共通の願いが生まれました。相手を思いやり、相手のためにできることを考える中で、互いの意見を受け止め、学び合い、高め合える経験を積んでほしいと思いました。A 児と友達が互いに認め合い、笑顔あふれる学級にしたいと願っています。

B分科会【4年社会科】 上村 公亮 さん（横浜市立生麦小学校）

協力者 梅田 比奈子さん（横浜市立瀬ヶ崎小学校）

「埋め立てとまちの人々の暮らし」

気になる子“N男”は、クラスのムードメーカー的な存在です。私は友達の意見をなかなか受け容れずにこだわりが強いなと思うことも、素直に自分の考えを伝えることができる子だと思うこともあります。誤読や自分の考えを曲げずに話し続けることで、「だから違うってば」「話が長い」と友達から言われてしまうこともあります。今回、浅野総一郎や横浜市などが計画して行った埋め立て事業の目的を学習しながら、その陰で生きてきた生麦の人々の暮らしの変化も学習していきます。埋め立て地に多くの工場が進出したことで人々の生活は豊かになった反面、1971年に生麦の漁民は漁業権を失いました。田舎の自然の美しさや、生き物を大切にしたい気持ちをもっている“N男”は、漁民に共感しながらこだわりをもって学習を進めていくと考えています。この地にこだわり、時代の変化に合わせて仕事の質を変えながらたくましく生きてきた生麦の人々の姿に共感しながら、“N男”の考えが友達に認められる場面がある授業づくりにチャレンジしていきます。

C分科会【5年 国語】 久保田 旬平さん（早稲田実業 初等科）

協力者 岸野 存宏さん（東京学芸大学大学院・院生）

「大造じいさんとガン」

～この子が本気で学びたくなる授業・それを支える教師の出とは～

「ぼくは簡単な質問の時には手を挙げないんだ。みんなが困っている時に手を挙げる。」2学期に親にそう話していた「この子」。願いをかけ実践に取り組んできましたが、この子が本気で学ぶ姿はなかなか見られません。運動会の騎馬戦では、「逃げて勝つのはやめよう。」という目標を立てていたにも関わらず、直前で仲間が敗れる姿を見て「勝ちを優先するあまり逃げてしまった。結果的には残ったけど、なにか引っかかる。」という日記を書いてきました。そんなこの子が「大造じいさんとガン」で、「ひきょうな真似をして勝ちたくはない」という大造じいさんや、仲間のために戦う残雪を撃とうとする大造じいさんをどう読むのでしょうか。教師5年目を迎えました。「子どもとともに創る」という言葉の意味や「対話的な学び」を考える1年となりました。そういった実践がどれだけできているのか。皆さんからたくさん学ばせていただきたいと想います。

D分科会【6年 社会】 原 亜衣子 さん（二宮町立山西小学校）

協力者 小瀬村 聡さん（元平塚市立小学校）

「本気で考える子を目指して」～“戦争と人々の暮らし”を通して～

「この子」は社会科の授業になると声を上げて喜びます。知識を得ることに対して、喜びを覚え、どんどん吸収していきます。しかし、考えること、面倒だと思ふことに対しては消極的です。感想は声をかけない限り文章量は少なく、催促しても「え～、わかんないよ。」の声を発します。決して、考えられない子ではないのに、考えることに制限をかけてしまっていることが残念でなりません。そんな「この子」が進んで考えようとする姿を見たい一心で、「戦争と人々の暮らし」の単元に取り組みました。私にとって「この子」への挑戦です。当時小学生だった人に伺った話を基に単元を構想、戦時中と現在の小学生の学校生活から生じるズレについて、五感を使いながら考えさせていきたいと願いました。授業は11月に入ってから始めたため、今、現在進行中です。果たして「この子」にとって、また、他の子たちにとっても、この単元が「本気で考えるもの」になったのか。参加者の皆さんと一緒に考えていきたいと思ひます。

## ○参加申込

### (1)参加費(宿泊費・資料代)

- ・ 宿泊(1泊2食付) 一般 17,000円(学生 15,000円)
- ・ 通い 一般 3,500円(学生 2,000円)

### (2)参加申し込み及びお問い合わせ

事務局高橋(携帯:080-5389-4608)までお願いいたします。

(※12月25日～31日の間は事務局小林(090-7415-5640)まで)

#### ① 参加申込書に記入の上FAXにて

FAX: 046(815)6544

#### ② インターネットの場合は keiichiro.t1214@gmail.com まで空メールを送付ください。折り返し、参加申込書を返送させていただきます。

### (3)申込締め切り日

**2017(平成29)年12月15日(金)**

※但し、12月8日(金)までにお申し込みいただくと、早割特典(-1000円)

がもれなくあります。ご活用ください。

**早割  
あり**

●参加費は、当日受付にてお支払いください。

●宿泊のキャンセル料について

3日前 参加費の30% 前日 参加費の50% 当日・連絡なし 100%

●個人情報の取扱について

提出いただいた個人情報は、今回の集会の宿泊の手続きや運営上必要な範囲内でのみ利用させていただきます。